

ボランティア・
NPOの情報誌



72号

Nov. 2025

とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F

tel:088-664-8211 fax:088-664-5345

e-mail:info@plaza-tokushima.com

https://www.plaza-tokushima.com

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

今月の特集



『スポーツで 地域格差をなくす!』

～過疎地の子どもたちへ、
笑顔とつながりを届けたい～



NPO法人 スポーツ巡回ネットワーク

SPORTS TRIP NETWORK

活動紹介

徳島県内における巡回指導と 遠征巡回活動



木屋平小・中学校へ遠征巡回活動



川内北学童での
サッカー教室

県内の保育園・幼稚園・小学校を中心に、こども園・学童・障がい者施設・発達支援施設などを巡回し、サッカーをはじめとする運動教室を開催。また、山間部の指導者不足地域に遠征巡回し、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えている。

離島交流活動と オンラインサッカー教室開催



オンラインサッカーの様子



岡山県笠岡諸島での合同サッカー教室

全校児童10人以下の小学校が抱える課題である『交流不足』。オンラインを用いて、他地域の小学生同士、自分たちが暮らす町の特徴や自慢などを共有。さらにスポーツも取り入れた交流の場を設け、地元を誇りに想い、共に学ぶ友達づくりの輪を広げている。

徳島を中心に全国の離島や山奥の子どもたちにスポーツの楽しさや喜びを届けます!

笑顔のゴールは、どこにだってつくれる 小さな学校に大きな夢を。



くろべ まさのり
代表 黒部 雅統さん

黒部さんが代表を務めるNPO法人スポーツ巡回ネットワークは「スポーツの地域格差をなくす」という理念のもと、徳島県を中心に保育園や学校、障がい者施設などで巡回指導を行っています。元々は外部からの委託でサッカー指導をしていましたが、2019年に任意団体を設立。活動の幅が広がる中、2022年にNPO法人化しました。

活動の原点は、全校児童6人の木屋平小学校への訪問です。「そんな少人数の学校に行く意味があるのか」と言われながらも実際に足を運び、その様子が新聞に取り上げられたことで大きな反響を呼びました。そのことをきっかけに、年間約500か所を巡回する中で、過疎地にスポーツを届ける意義を強く感じるようになります。

2020年にはコロナ禍に突入し、リアル指導が困難に。そこで持ち前の直感と発想力を活かし、オンライン指導を開始。今では離島や県外の地域ともつながり、活動の場を広げています。印象的なエピソードとして、瀬戸内海の離島

にある全校児童1人の小学校と隣にある離島の小学校とで、合同リアルサッカー指導を開催した時のこと、校長先生がいつもは1人で学校生活を送っている児童に「今日は何が楽しみ？」と問いかけると児童は「給食と一緒に食べたい!」と答えたそうです。その日の交流は、1人では体験できない「当たり前の学校生活」を叶えた瞬間でした。そこでスポーツが単なる運動だけでなく、人や地域をつなぐ力を持つことを改めて実感しました。

黒部さんは「教育のデッドスポットとなるような廃校・統合前の小学校にこそ支援が必要だ」と訴えます。サッカーというツールを通じて、地域の子どもたちに希望を届ける。僕たち1回の訪問で格差がなくなるとは思っていませんが、活動や実体験を発信することで一人ひとりが「自分にできることは何か」を考えるきっかけになればと願っています。そしてその願いとともに、今日もグラウンドには子どもたちの笑顔とボールが飛び交っていることでしょう。



その他の活動



巡回ランバイク教室 の開催



未就学児のランバイク教室

サッカーができない未就学児を中心にランバイクの巡回指導。足で地面を蹴って進むことで、バランス感覚を養い、筋力も鍛えられる。運動神経を向上させ、楽しみながら子どもたちの成長をサポートしている。

四国の小学校に ゴールネット寄贈



小学校のぼろぼろになったサッカーゴールネット。これまでは上級生が卒団の際、贈呈していたが、少子化で困難であるという相談を受け、クラウドファンディングや助成金を活用して、四国の小学校に寄贈している。



阿南市今津小学校に
サッカーゴールネットを寄贈

全国でオンライン教室 巡回指導をしている 団体との連携



福島県浪江青年会議所と開催した
ランバイク教室



全国でオンライン教室や巡回指導を展開している団体・個人とともにグループを作ること、活動の幅を広げて、スポーツの地域格差をなくす活動を共有している。

(取材：藤本・佐藤)



NPO法人 スポーツ巡回ネットワーク

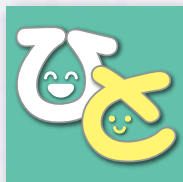
TEL : 080-5355-2036

Mail : tokushimakanri@ss-futsal.com

HP : <https://sports-network.jp/>



HPアドレス



DVのない社会を目指して

——早期教育からはじまる

“気づき”のたねまき



パープルシードあなん 代表

あお き こう じ

青木 浩次 さん

連絡先：090-1172-6300

公式Facebookページ ▶



阿南市を拠点に活動する「パープルシード あなん」代表・青木浩次さんは、DV（ドメスティック・バイオレンス）やデートDV*の防止啓発に力を注いでいます。

青木さんがこの活動を始めたのは、2013年に阿南市で開催された「日本女性会議＜男女共同参画＞2013あなん」で、DVをテーマとした分科会の運営を手伝ったことがきっかけでした。当時はDVに関する知識もほとんどなかったという青木さん。しかし、被害の実態を知るうちに「DVをなくしたい」という強い思いが芽生え、会議終了後も分科会のメンバーとともに「パープルシード あなん」として活動をするようになりました。

DVとは、殴る・蹴るといった身体的暴力だけでなく、暴言や束縛などの精神的な暴力も含まれます。多くの加害者は、「相手が悪いから」「愛情の表現だ」などと正当化し、ときには「自分が被害者だ」と思い込んでいるケースも少なくありません。背景には、「男は強くあるべき」「女は我慢すべき」といったジェンダーに基づく固定観念があります。こうした偏った価値観が対等な関係を壊し、暴力を正当化する温床となっているのです。

こうした無意識の偏見を変えていくために、青木さんが特に重視しているのが、10代などの若い世代への早期教育です。「DVは大人の問題だけではありません。若者の間でも“デートDV”というかたちで起きています。だからこそ、学校の中で『暴力とは何か』を学ぶ機会が必要なんです」と青木さんは語ります。

現在、青木さんたちは県内の中学校を中心に、デートDV防止や「性的同意」などについての講演活動を継続的に行っています。講演では、「束縛って、なぜダメなんですか？」という生徒の質問に対し、「それは“愛情”ではなく“支配”。対等な関係とは言えません」と丁寧に伝えているそうです。青木さんはさらに、性暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもならないために、性教育は幼児期から始めるべきだと訴えています。幼稚園や保育園で、保護者と子どもと一緒に『性のこと』『子どもの人権』について学ぶ機会があれば、信頼関係や自己肯定感を育て、自分らしく生きる力を身につけることができます。

団体名の「パープルシード」は、DV防止のシンボルカラーである“紫”と“気づきのたね”を意味しています。暴力のない社会は、誰もが安心して暮らせる社会です。青木さんのまわりの“紫のたね”は、暴力を許さない意識と、お互いを尊重し合う関係づくりの力を育てる、小さな希望の芽。

その芽が地域に根を張り、人と人とのつながりの中で大きな変化へと育っていくことを願いながら——青木さんはこれからも活動を続けていきます。

*デートDV・・・恋人同士の間で起こる暴力のこと

(取材：川上・橋本)





2016年7月に視覚障がいランナーも在籍するマラソンクラブ「阿波を共に走る会」をマラソン仲間と設立。現在のNPO法人あわともへつながる。現在理事長。本業はシステムエンジニア。

二人でつくる新しい物語、伴走の魅力と始め方

かさい よしのり
NPO法人 あわとも 理事長 笠井 省宜

特定非営利活動法人あわともの笠井です。
私たちは、視覚に障がいがある人もない人も、一緒にスポーツや文化活動を楽しむ活動を行っています。

第2回目の今回は、ランニングやウォーキングの伴走についてご紹介します。伴走というと、パラリンピックの映像でご覧になった方も多いと思います。お互いが1メートルほどの紐(伴走ロープ)の両端を手で持ち二人三脚の要領で脚はこびを合わせます。そして、安全に楽しむために伴走者は、周りの状況を声で伝えることが重要です。例えば、「右に90度曲がります」「ここから上り坂です」といった具体的な情報を、3～5メートル手前で事前に伝えます。マンホールや道路のつなぎ目など、足元が不安定になる場所も同様に声かけします。「大変そう」と思われるかもしれませんが、回数を重ねるうちに自然と声が出るようになります。伴走は、「習うより慣れろ」と言われるほどです。安全な直線道路では、周りの景色の話や世間話で盛り上がり、一人で走るよりも楽しく感じるという伴走者も多いです。

いかがでしたか？ご自身の健康づくりに伴走をプラスして一緒に楽しく走ったり歩いたりしてはいかがでしょうか。

最終回の次回は、文化活動についてご紹介します。お楽しみに。

ハートリレー

No.72 島田さんから
松本さんへ



まつもと ゆうこ
松本 裕子 さん

お地蔵様を見守り繋げる

私たちの住む町内に「昭和公園のお地蔵さん」として親しまれている地蔵尊があります。

そのお地蔵様のお世話をしている「地蔵尊世話人会」のメンバーの一人が松本裕子さんです。お掃除やお賽銭の管理、そして松本さんのご主人が幼少の頃(70年以上前)から続いている地蔵盆の行事を開催しています。

以前はたくさん子どもたちが集まっていた地蔵盆も時代と共に参加者が少なくなっています。長年続けて来た行事を次の世代に引き継いでいけるかどうか不安になると松本さんはおっしゃっていますが、地域の行事として根付いていくことで住民同士が顔見知りになり子どもたちを見守ることが出来る安心な町内会になるのでは、と考えているそうです。

そして、なによりお花をたむけてくれたりお参りをしてくださる



たくさんの方々に支えていただけていることが励みになっており、活動を続けていける原動力ですとおっしゃっていました。

◀左から
会 計 松本裕子さん
代 表 岡田久美子さん
副代表 立花玲子さん



しまだ ひろよ
文・島田 浩世

編集後記

先日、生成AIの講座を受講しました。正直な感想は「こんなことまでできるのか!」。キーワードさえ指示すればたちどころに文章や資料を作成してくれます。我々人間は何をすればいいのでしょうか...少し考えさせられました。ところで、この文書の作成者や如何!? (中西)

一生、いい歯と付き合うために。

「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人

徳島県歯科医師会

会長 松本 侯

徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977

ホームページ



徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!

一般社団法人

徳島県医師会

会長 齋藤 義郎

徳島市幸町3丁目61番地

TEL 088-622-0264



2026年度生(2026年4月1日学習開始)願書受付中!

社会福祉学科

社会福祉士養成
通信課程

一般養成課程 (1年6ヶ月コース)
(1年コース)

短期養成課程 (9ヶ月コース)

精神保健福祉学科

精神保健福祉士養成
通信課程

一般養成課程 (1年7ヶ月コース)

短期養成課程 (9ヶ月コース)

教育訓練給付制度対象講座

好きを極めてプロになる



学校法人 栄光学園
専門 吹奏パティシエ福祉カレッジ

〒760-0021

香川県高松市西の丸町14-10

TEL.087-873-2455

